

## 東京都江戸東京博物館(1)

事業名	会期	概要
特別展 「江戸の街道をゆく ～将軍と姫君の旅路～」	2019年4月27日～6月16日	泰平の世となった江戸時代、幕府によって整備された街道には、さまざまな人の往来がありました。なかでも人々を圧倒させたのが、将軍や姫君たちの長大な行列でした。本展では、 <b>将軍の上洛や日光社参、姫君の江戸下向に関する資料とおし、江戸の街道における旅路をたどります。</b> 風景や道の姿は変わっても、先人たちが通った街道は現代の私たちにもなじみ深いものです。過去から現在まで続く街道の歴史を展観します。
企画展 「発掘された日本列島2019」	2019年6月1日～7月21日 21時まで特別開館: 7月19日	全国で毎年約9,000件行われている発掘調査の中から、 <b>特に注目された出土品を選びすぐって紹介</b> します。多くの人々が埋蔵文化財に親しみ、その保護の重要性に関する理解を深めることを目的とします。あわせて、 <b>太田道灌が江戸城を築いた時期、東京周辺の南武蔵はどのような様相だったかを紹介する地域展</b> を開催します。
特別展 「江戸のスポーツと東京オリンピック」	2019年7月6日～8月25日 21時まで特別開館: 7月19日、26日、8月2日、9日、16日、23日	日本に古くより伝わる <b>相撲や流鏑馬、蹴鞠等</b> が江戸時代に行われていた様子から、近代スポーツの受容と流通、そして東京2020大会までをテーマに紹介する <b>展覧会</b> です。東京で2回目となる <b>オリンピック・パラリンピック開催の1年前</b> に、日本におけるスポーツとオリンピックの歴史をひもとくとともに、機運を盛り上げます。
企画展 「いきものがたり—江戸東京のくらしと動物—」	2019年8月6日～9月23日 21時まで特別開館: 8月2日、9日、16日、23日、30日	江戸時代から現代にかけて、都市で暮らす人々にとって、生きものたちは、切り離すことができない大切な存在でした。時代や世相が移り変わる中で、様々な形で私たちの生活に関わってきました。本展では、 <b>館の収蔵品を中心に、江戸東京の人々と生きものとの関係の歴史と文化</b> を紹介します。
特別展 「士サムライ—天下太平を支えた人びと—」	2019年9月14日～11月4日	日本をイメージするキーワードとして、内外を問わず「サムライ」が多用されています。しかし、その言葉は多分に感性的なものです。そこで本展では、 <b>現代のサムライのイメージの原点である江戸のサムライを取り上げ、その実相を明らかにします。</b> 武家伝来の日用品や絵画・古写真を展示し、道具と風景の両面から彼らの実生活を紹介。江戸とその近郊に暮らしたサムライの姿を現します。
企画展 国際交流展「ユ・マンジュのハニャン」	2019年10月22日～12月1日	1755年漢陽（現在のソウル）に生まれたユ・マンジュは、20才になった1775年から死没する直前の1788年まで、一日も欠かすことなく日記を書き続けました。 <b>ユ・マンジュの日記を通して、18世紀後半の漢陽の風景やそこに暮らす人々の日常生活を紹介する展覧会を、ソウル歴史博物館と共同で初めて開催</b> します。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。

※上記事業の内、企画展は常設展示室内 5F企画展示室で実施します。

詳細は東京都江戸東京博物館広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

東京都江戸東京博物館

〒130-0015 墨田区横網1-4-1

電話 03-3626-9974 FAX 03-3626-9950

<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

※開館時間:9時30分～17時30分(土曜日は19時30分まで、夏休み期間の金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)

※休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館)、年末年始

## 東京都江戸東京博物館(2)

事業名	会期	概要
特別展 「大浮世絵展－歌麿、 写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演」	2019年11月19日～ 2020年1月19日	2014年に開催した「大浮世絵展」の第2弾。今回は喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重、歌川国芳の5人の絵師に焦点を絞り、より強く作品の世界観を伝えるとともに鑑賞者の心に訴えかけます。世界的に注目される人気絵師の傑作を一堂に会し、美の競演を展開します。国内外の傑作から、浮世絵の魅力を伝える展覧会です。
企画展 「徳川宗家2019」	2020年1月2日～2月 16日	公益財団法人徳川記念財団が所蔵する徳川將軍家に関する資料を、毎年特定のテーマに基づいて紹介します。
特別展 「江戸ものづくり列伝－ニッ ポンの美は職人の技と心 に宿る－」	2020年2月8日～ 4月5日	明治前期に日本を訪れたヨーロッパ貴族バルディ伯爵の日本コレクション（ヴェネツィア国立東洋美術館所蔵）の日本初公開をはじめ、江戸東京で活躍した職人たちの仕事と人生に光を当て、日本が世界に誇る「ものづくり」を紹介します。特に5人の名工－江戸を代表する2人の蒔絵師・原羊遊齋 <small>はらようゆうさい</small> と柴田是真 <small>しばたぜしん</small> 、葛飾北斎の弟子で絵師から金工の道に転じた府川一則 <small>ふかわかずのり</small> 、尾形乾山の陶芸を継承した鬼才の陶工・三浦乾也 <small>みうらけんや</small> 、超細密工芸を究めた小林礫齋 <small>こばやしれきさい</small> の作品で構成します。
企画展 「市民からのおくりもの 2019」	2020年3月10日～5 月6日	当館が新たに収蔵した資料を厳選して紹介する展覧会です。寄贈者に謝意を表すとともに、博物館の資料収集及び保管活動も伝えます。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。

※上記事業の内、企画展は常設展示室内 5F企画展示室で実施します。

詳細は東京都江戸東京博物館広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

東京都江戸東京博物館

〒130-0015 墨田区横綱1-4-1

電話 03-3626-9974 FAX 03-3626-9950

<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

※開館時間：9時30分～17時30分（土曜日は19時30分まで、夏休み期間の金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館）

※休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館）、年末年始